

建築学科の人材養成の目的

【学部の人材養成の目的】

工学部は、人と自然環境に調和した新しい科学技術の創造と豊かな社会の構築を目指すため、幅広い教養と倫理観及びコミュニケーション力からなる基盤能力とそれぞれの分野における高度な専門能力を兼ね備え、独自の発想で課題を解決できる人材を養成することを目的とする。

【学科の人材養成の目的】

建築学科では、社会生活を送るうえで必要となる知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、創造的思考力の修得のもとに、建築に関する総合的な知識・技術を基盤として、積雪寒冷地の諸条件を考慮した建築計画手法や建築技術を修得し、地域社会に貢献できる次のような建築設計者・建築技術者を養成する。

- ①風土、歴史、文化などを踏まえた建築や都市空間をデザインする能力を有する建築設計者
- ②健康で快適な生活環境や環境負荷が小さく省エネルギー化を実現した建築空間を創出する建築設計者・技術者
- ③これまでの自然災害による被害を踏まえ、建築空間の長寿命化を考慮した構造安全性及び耐久性を創出する建築設計者・技術者
- ④建築分野の総合的な専門知識と設計技術を基盤に、敷地やその周辺環境、あるいは、気象条件に適した施工技術を選定し、建築物の品質管理・生産管理を行う建築技術者

建築学科ディプロマ・ポリシー

建築学科は、「科学的市民」の育成という教育理念のもとに以下の資質や能力を身につけ、所定の授業科目を履修して卒業に必要な単位を修得した学生に、学士（工学）の学位を授与します。

1. コミュニケーション力

論理的な思考力、記述力、発表と議論の能力を有し、文化やバックグラウンドが異なるコミュニティとの交流・情報交換や、他者と適切なコミュニケーションを取ることができる。

2. 課題発見解決力

直面する問題を科学的かつ論理的に分析して課題を整理・説明する能力を有し、他者に働きかけ協力を得ながら解決案を構築し提案することができる。

3. 自らを律し、学び続ける力

目標達成のための計画を立案・遂行できる能力を有し、工学に関連する知識・技術を、自主的かつ継続的に学習することができる。

4. 多様な視点から物事を捉え、異なる意見を理解する力

持続可能な社会の実現に向けた科学技術の役割と責任を理解し、多様性を尊重しながら他者との共生に向けた行動をとることができる。

5. 専門的知識・技能を修得し、実践する力

建築学の専門的な知識や技術を修得するとともに、それらを活用することにより、地域社会における様々な課題を解決することができる。

6. 総合力

獲得した基盤能力と建築学に関する専門知識・技術、及びそれらを応用する能力を活用し、地域社会において建築設計者・技術者として活躍できる。

建築学科カリキュラム・ポリシー

建築学科では、HUSスタンダード科目、学部共通科目、専門教育科目の有機的な結合によって、建築設計者・技術者としての専門能力と専攻分野を通じて学士力を培うことを目指したカリキュラムを設計します。このことを明確にするために、ディプロマ・ポリシーの各項目を達成するために必要な授業科目の流れや、各項目と授業の整合性・関連性を体系的に理解できるようカリキュラム・ツリーを作成します。さらに、教員団はその組織的関与により、常にカリキュラムの点検評価、及び改善を行います。学修成果やカリキュラムの点検評価の方針をアセスメントプランとしてまとめています。

1. 基盤能力の修得に向けて①コミュニケーション力、②課題発見解決力、③自らを律し、学び続ける力、④多様な視点から物事を捉え、異なる意見を理解する力を養う HUS スタンダード科目を配置します。
2. 専攻分野に必要な基本スキルを育成するための HUS スタンダード科目、学部共通科目を配置し、領域ごとに最適化された専門知識・技能修得のための専門教育科目を配置します。
3. 基盤能力と専門的知識・技能に関連する科目を体系的、効率的に修得できるよう配置します。
4. 自ら学ぶ力の醸成や能動的学修をサポートするため、充実した学内 LAN 環境、e-learning 環境などの優れた IT 環境を提供します。
5. 現代社会のニーズに対応する力を育成するため、最新かつ高度な知識及び技術を学ぶ専門教育科目を配置します。
6. 建築学科の専門教育科目は、1～2 年次の専門基礎教育科目及び専門基盤教育科目、3～4 年次の専門実務教育科目で構成され、すべての学生が建築学の基礎を理解し、かつ協力・協調する姿勢、自ら課題を発見し、問題を解決する能力を身に付けた上で、実践的な課題に取り組む専門教育システムとしています。
7. 修得した知識・技術に基づいて自らが考えて取り組む建築意匠・構造・設備の設計演習や、建築士学科試験を題材とした建築学の系統的・総合的な学修を通じて、実践的能力と自律的学習能力を育成します。
8. 各授業科目の成績評価については、成績評価ガイドラインに則り、厳格かつ公正に行います。
9. 学生の学修成果については、アセスメントプランに定めた方法及び収集した情報に則り、評価します。

建築学科 アドミッション・ポリシー

① 基本方針

建築物は、人々が安全で快適に生活することができる空間を提供するとともに、その地域の文化、歴史、自然等を踏まえた高いデザイン性を有している必要があります。

建築学科では、建築計画・意匠・環境・設備・構造・材料に関する建築物の総合的な知識を基盤として、建築・都市空間をデザインする能力を有する建築設計者、健康で快適な空間を創造するための建築設計者・技術者、構造安全性と耐久性を創造するための建築設計者・技術者、ならびに、現代社会や地域の要請に応じた高品質の建築物を提供するための建築技術者を養成するための教育・研究を行います。

そのために、以下のような資質・能力・意欲を持った学生を受け入れます。

② 求める人材像と学力の3要素

求める人材像		知識	思考力	主体性
		技能	判断力 表現力	多様性 協働性
社会的諸問題と建築や人間生活の関わりについて関心を持ち知的好奇心旺盛な人	→	△	○	◎
コミュニケーション能力やチームの一員としての自覚を有している人	→	△	○	◎
創意工夫に富む発想を有し、豊かな建築空間を創造したい人	→	○	◎	△
建築学を学ぶための基礎学力を有し、建築士を志す人	→	◎	○	△

③ 学力の3要素と求める多元的な評価

学力の3要素		求める多元的な評価					
知識・技能	→	学力試験	調査書	発表	推薦書	集団面接	口頭試問
思考力・判断力・表現力	→	学力試験	調査書	発表	レポート	個人面接	
主体性・多様性・協働性	→	推薦書	集団面接	自己推薦書	集団討論		

④ 入学者選抜方法における評価の比重

入学者選抜方法	学力試験	調査書	発表	レポート	推薦書	集団面接	個人面接	自己推薦書	集団討論	口頭試問
新ガリレオ選抜	△	—	○	◎	—	○	△	△	◎	—
学校推薦型選抜(系列校)	—	○	—	○	○	◎	—	—	—	△
学校推薦型選抜(指定校)	—	○	—	—	○	◎	—	○	—	△
学校推薦型選抜(公募)	△	△	—	—	○	◎	—	○	—	—
自己推薦型選抜	△	○	—	—	—	—	○	◎	—	—
一般選抜	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一般選抜(共通テスト利用選抜)	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外国人留学生選抜	○	—	—	—	—	—	◎	—	—	—

⑤ 入学前に習得すべき内容・水準

- ・現代社会が抱える諸問題を解決するため、幅広い分野の基礎知識を習得していること。
- ・高等学校等において、明確な目的意識を持って主体的に学ぶ姿勢を経験していること。
- ・建築学を中心とする学士課程教育を学ぶための必要な基礎学力(国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民)を有するとともに、基本的な概念や原理・法則を理解し、基礎的な事象においては、論理的に考察し、処理する能力を有していること。

※記号(◎, ○, △)は重要度の順序を表しています。